

NHKオンデマンド サービス

～ 2年目に向けた新たな取り組み ～

◆利用可能な環境の拡大

昨年12月から開始したPC向けサービスでは、利用できるOSが Windows のみ、ブラウザが IE(Internet Explore)のみに限定されておりました。そこで、来年4月にFlash Videoによる映像配信に切り替えます。これにより、今まで利用できなかったOS(Mac OS など)や、ブラウザ(Firefox など)からも利用できるようになります。

またFlash Videoの切り替えにあわせて、現在提供している 1.5Mbps、768kbps のビットレートにくわえて、384kbps のビットレートでの提供も開始し、低速な回線での利用も可能にします。

◆字幕サービスの試行

Flash Videoへの切り替えにあわせて、PC向けサービスの見逃し番組の一部に対して、字幕サービスを試行します。4月の開始当初は1日4～5番組程度でおこなう予定です。

字幕表示は、放送と同様に、必要に応じた操作によって表示／非表示の切り替えが可能です。

将来的な対象番組の拡大に向けて、4月からの試行を踏まえて検討していきます。

◆放送～通信連携機能によるサービスの導入

(社)IPTVフォーラムなどで検討して規格化した、放送～通信連携機能を利用したサービスを開始しました。

インターネットによるデータ放送のサービスの「NHKデータオンライン」からアクトビラ、および、一部のケーブルテレビの「NHKオンデマンド」サービスのトップ画面への遷移を実現いたしました。なお、本サービスは放送～通信連携機能に対応している受信機やSTBにおいてのみ、遷移用のボタンが表示され利用可能となっています。

これを最初のステップとして、一層の放送～通信連携機能を利用したサービスの実現についても検討を進めていきます。

(参考資料)

◆字幕サービスの提供イメージ



◆放送～通信連携機能によるサービスのイメージ

NHKオンデマンドトップ画面

データオンライントップ画面



アクトビラ



ケーブルテレビ（一部）

